

議員力向上の取組の実施に係る検討結果

令和2年3月

政策調整会議

目 次

1	検討に至る経過	
(1)	田中議長からの議会改革の取組に関する諮問	1
(2)	諮問への対応	1
2	政策調整会議における検討の経過	
(1)	検討委員	2
(2)	検討の経過	2
3	検討結果	
(1)	試行的研修の実施	3
(2)	議員力向上の取組のあり方・具体案	8
〈参考資料〉		
資料 1	議会改革に関する諮問書	1 2
資料 2	理事調整会議からの要請文	1 3
資料 3	議員力向上研修（試行）の実施について（案） （令和元年11月6日議会運営委員会資料）	1 4
資料 4	議員力向上研修（試行）のアンケート用紙	1 5
資料 5	府議会の現状の取組	1 7
資料 6	他府県議会の取組状況等	1 8

1 検討に至る経過

(1) 田中議長から議会改革の取組に関する諮問

京都府議会では、これまでから、府民のための議会のあり方を求めて議論を重ね、開かれた議会や政策提案機能・監視機能の充実に向けた様々な議会改革の取組を実施してきたところである。

議会改革に終着点はなく、これまでの取組の成果を確かなものとし、更に発展させながら府民の信託に応え、府議会の権限を最大限に発揮していくためには、議会改革に関し、不断の検討を行うことが求められている。

令和元年7月3日、田中議長から議会運営委員会に対し、新たな議会改革の課題として、次の2点について議会改革に関する諮問が行われた。

- 少子高齢化、人口減少という社会情勢にある中で、これらを見据え、新しい総合計画を策定しようという今、私たち府議会に求められていると考える「議員力」・「議会力」を高める取組について、議会改革の課題として、次の検討をお願いしたい。
 - ① 選挙区ごとに選出される議員には、それぞれの地域の課題や要望をしっかりと把握し、地域の多様な可能性を感じながら、それらを府域全体の発展に資する府政の方針・政策・施策として鍛え上げる力量が求められており、そのための議員力向上の取組の実施検討
 - ② 二元代表制の一翼を担う議会は、知事等の執行機関に対する政策提言という重要な機能を有しており、その機能が今まで以上に機動的かつ効果的に発揮される、議会・委員会運営のあり方の検討（試行の検証を含む。）

(2) 諮問への対応

(1)による田中議長からの諮問を受け、①の諮問項目については、令和元年7月4日、現状の分析と議員力向上の取組のあり方及び具体的な充実策・実施策について検討を行なうよう、理事調整会議から政策調整会議に対し要請がなされた。

また、②の諮問項目については、同日、議会運営委員会に委員12名で構成する議会改革検討小委員会を設置して検討を行うこと、及び委員会における情報端末の活用試行の検証その他府議会のICT化については小委員会の委員5名で構成する作業部会を小委員会に設置して調査研究を行うことが、議会運営委員会において決定された。

ここでは、①の諮問項目に関し検討を行なった結果を報告するものである。

2 政策調整会議における検討の経過

(1) 検討委員（政策調整会議委員 5名）

- 座長 池田 正義（自民）
- 委員 能勢 昌博（自民）、馬場 紘平（共産）、田中 健志（府民）、
小鍛治 義広（公明）

(2) 検討の経過

理事調整会議からの検討要請事項について、計5回にわたる検討を行い、この報告書を取りまとめたものである。

- R 1. 7. 1 第1回 今年度の取組について
- R 1. 9. 20 第2回 議員力向上の取組の実施検討（1）
- R 1. 9. 30 第3回 議員力向上の取組の実施検討（2）
- R 1. 11. 5 池田座長から理事調整会議に対し、試行的研修の実施案を報告
- R 1. 11. 6 議会運営委員会において、試行的研修の実施案を承認【資料3】
- R 1. 12. 16 議会運営委員会の主催による試行的研修の実施
（議員力向上研修「質問力、議員力を高める府議会づくり」
龍谷大学政策学部 土山 希美枝 教授）
- R 2. 1. 16 第4回 まとめ協議（1）
- R 2. 2. 21 第5回 まとめ協議（2）・確認

3 検討結果

(1) 試行的研修の実施

議員力向上の取組のあり方及び具体的な充実策・実施策を取りまとめるに当たっては、一度、試行的に研修を実施した上で、その研修の結果を検証することで、課題も含めた内容で、より実効的かつ有効なものとして答申案を取りまとめることができると思ったことから、試行的取組として、アにより研修を実施した。

ア 実施内容

(ア) 趣旨

府議会では、委員会での参考人招致や管内外調査の積極的な実施により、府政の課題に係る議員の知識や解決能力等を高めてきた一方で、特定の政策課題にかかわらない、議会での質問の質や運営の力を高めたり、議員のあり方や議会の展望を学んだりするような、「議員力」そのものを向上させる研修等の取組は行っていない現状にある。

このような取組は、近年、多くの他府県議会で実施されていることも踏まえ、試行的に議員力向上研修を開催する。

(イ) 研修テーマ

「質問力、議員力を高める府議会づくり」

土山 希美枝 氏（龍谷大学政策学部政策学科教授）

(ロ) 開催日時

令和元年12月16日（月）午前10時から正午まで

(ハ) 会場

議会棟3階 大会議室

(ニ) 主催

議会運営委員会

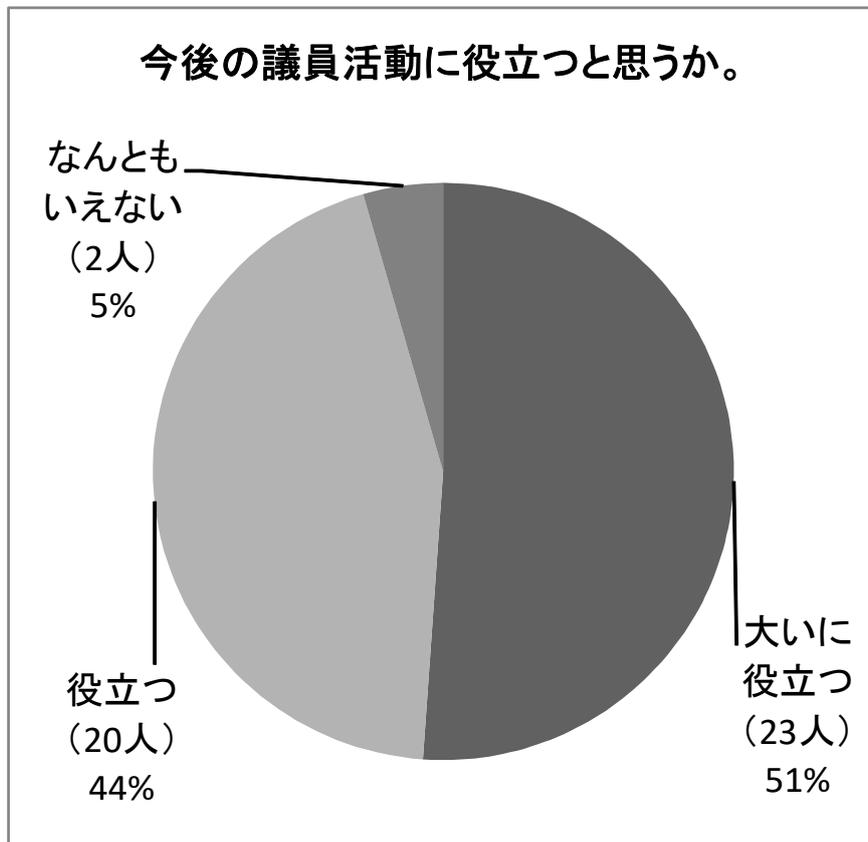
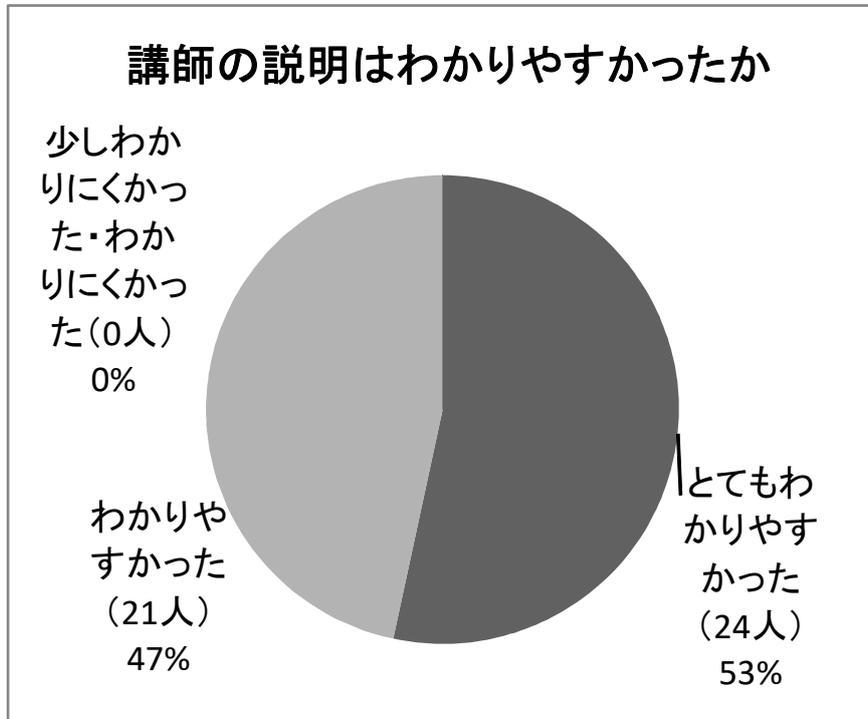
(ホ) 参加議員数

54名（希望参加制での開催）

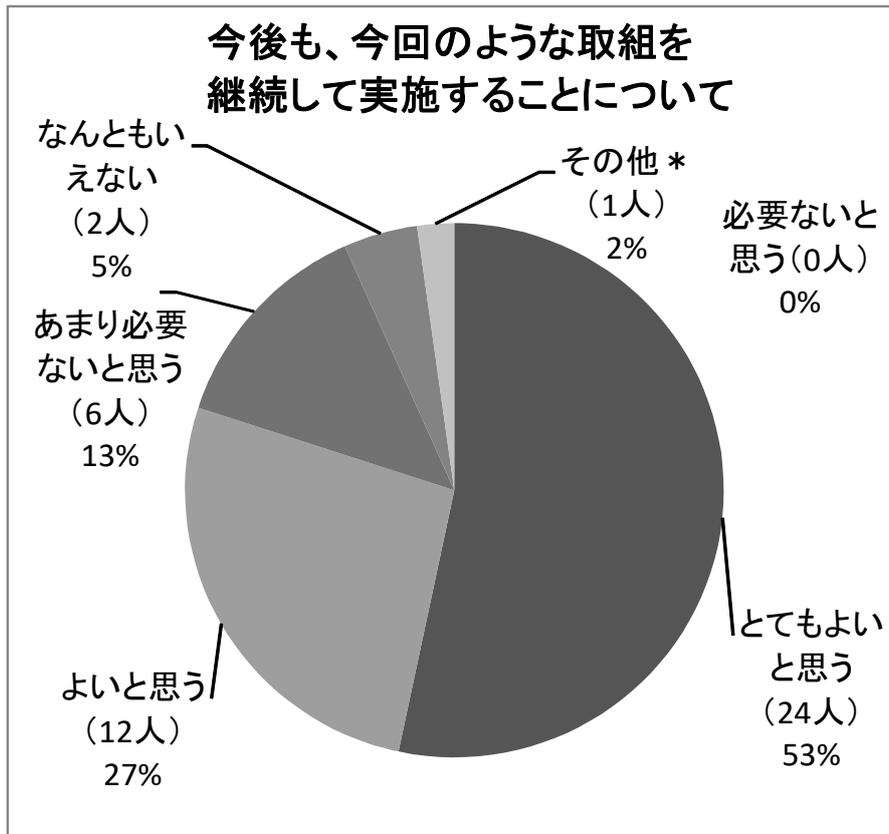
イ 参加議員アンケートの結果

(アンケート回収数45 / 参加者数54) ※設問によって回答数は異なる。

(ア) 本日(12/16)の研修(土山教授の講演)について



(イ) 今後の取組について

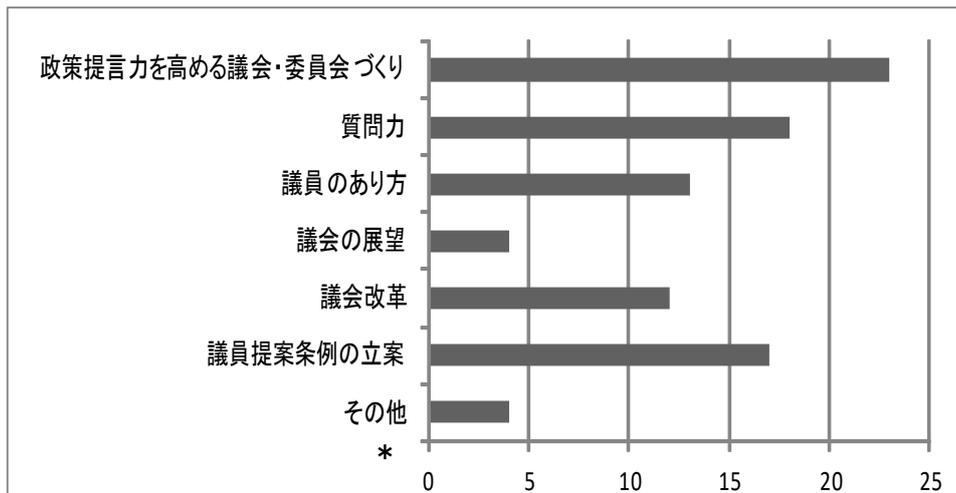


*「その他」回答の内容

(・ 『よいと思う』と『あまり必要ないと思う』の間)

(ウ) 今後、受研したいテーマについて

((イ)で「とてもよい」又は「よい」と回答した議員(36人)へのアンケートの結果)

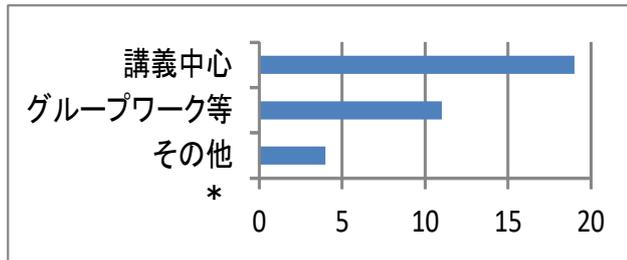


*「その他」回答の内容

(・ 行政(執行部)の研修への参加、他県の知事・首長OBによる講義・意見交換、請願審査をテーマにした研修等)

(イ) 今後、希望する研修の形式について

((イ)で「とてもよい」又は「よい」と回答した議員(36人)へのアンケートの結果)



*「その他」回答の内容

- ・ 「全体研修」と「議員が複数のテーマから選択できる研修」の組合せとし、テーマは、各会派が受講したい講師を推薦し、リストアップされた中から理事調整会議で選定するような仕組みを検討いただきたい。
- ・ 新人(1~2期)、中堅(3~5期)、ベテラン(6期以上)に分けて行なうグループワーク
- ・ 内容等に応じて考えればよい。 等

(オ) 自由記載欄に記載された主な意見

<今後も継続する方向性による意見・提案>

- ・ 全議員の共通理解に繋がるよい研修になった。特に、議員や秘書経験がなく府議会議員となった者向けに様々な視点からの研修継続を希望する。
- ・ 行政(執行部)の研修に議員も参加できるように検討・調整してはどうか。
- ・ テクニク的な話ではなく、誤った政策を提言してしまわないための議員としての心構え、常識のような、政策提言の本質・中身についての話が聴ける機会を是非作ってほしい。
- ・ 前泊しなくてよい日程で開催してほしい。
- ・ 一般質問のテーマだけでも、これほどの問題提起をしていただき、現場の実情を調査分析し、研究を続けられた内容で説得力があった。質問力向上へ生かしたい。議会の政策能力、質問力の向上とともに、行政側の対応力も必要。双方向のやり取りができる議論でありたいと思う。
- ・ テーマに応じて、全体研修と複数のテーマから選択できる研修を実施いただければと思う。各会派から推薦の講師をリスト化し、政策調整会議で協議の上、順次、受講できるような仕組みも検討いただきたい。
- ・ 他の議会での実施事例も知りたい。

- ・ 議員全体にとってはよかったと思うが、個人的にはやや物足りない内容（1期～2期向けではないか）。今後は、グループワークとして、新人（1,2期）、中堅（3～5期）、ベテラン（6期以上）に分けて行なってみてはどうか。また、他県の知事・首長OBによる講義・意見交換というものも検討してはどうか。
- ・ セミナー形式（ゼミ形式）で開催してほしい。

<消極意見その他の意見>

- ・ 内容が初歩的すぎるのではないか。全議員対象の研修は、関心や必要な知識、能力が違うので、難しいのではないかと思った。
- ・ 土山先生の問題提起は大変ためになった。とりわけ、基礎情報の収集・分析などについては、議会事務局の力も、もっとお借りしたいと思った。今後の継続については、なんともいえない。
- ・ 話の中身は役に立つものだと思うが、こうしたものを議会として全議員対象になるのかは、やや不明。試行には意義があったと思うが、今後は議論が必要。（議員力向上は）議会図書館の利用など、検討すべきこともあると思う。
- ・ （議員力向上は）各自で研究すればよいことではないか。

(2) 議員力向上の取組のあり方・具体案

(1)による試行的研修の実施結果等を踏まえ、議員力向上の取組のあり方・具体案を政策調整会議でとりまとめた結果については、次のとおりである。

ア 議員力向上のための府議会の取組のあり方（提言）

- 「議員力向上」は重要であり、他府県議会での取組事例を踏まえ試行的研修として実施した今回のような研修は、アンケートの結果からみても、議員活動に役立ち、かつ、議会全体としての力を高めるものといえるので、今後も、「議員力向上研修」を府議会として実施することの意義はあると思われる。
- もちろん「議員力向上」は、受け身ではなく、各議員の不断の研さんにより自ら取り組むべきものであるし、さらに、そのことを踏まえ、各会派において所属議員の政策力を向上させる取組として議員団による管内外調査その他の調査活動等が重要視される中で、府議会が新たな取組として、今回のような研修の実施を継続的取組として推進する場合には、これらの議員・会派活動のほか、委員会活動や議員派遣による研修参加等との役割分担も勘案し、次のとおり整理し、実施することとしてはどうか。

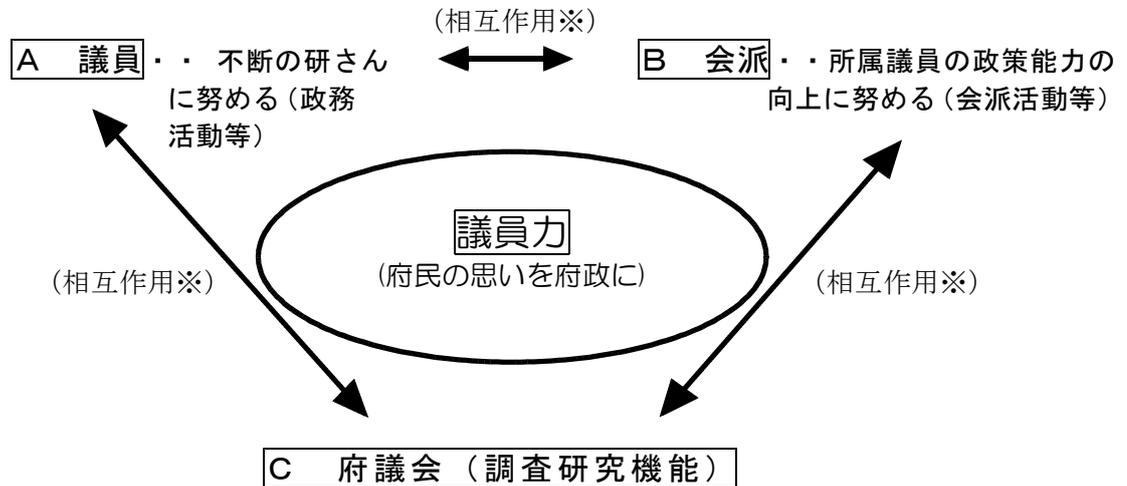
取組の主体	主体ごとの立場 (議会基本条例)	条項	議員力向上ための 取組・手段	テーマ
A 議員	不断の研さんに努める。	6条 2項	・自身の政務活動 ・議会図書館の活用 ・議連の活動 等	全般
B 会派	会派活動を通じて、会派及び所属議員の政策能力の向上に努める。	7条 2項	・会派の政務活動 (議員団調査等) ・政調会等の活動 等	全般
A～Cによる、それぞれの「議員力」の向上が「議会力」を向上させる	(a) 委員会（常任・特別）	20条 1項	・管内外調査 ・参考人招致 ・委員派遣 等	所管事項に係るテーマ
	その他の議会議事活動 (b) 他団体主催の研修等への議員派遣		・全国議長会や総務省等の取組への参加 等	(主催側において開催目的に応じて設定)
	(c) 議会主催の研修【 新たな取組み 】		議員力向上研修 ※ただし、法令上の実施根拠のない任意の議会活動	議会改革関係のテーマ (議会運営の課題(議会力の課題)について問題提起をしたり、又はその検討や解決に資する知見(議員力)を得られるようなテーマ)
C 議会	3 議会運営に関する課題解決に資するための調査を行なう。(c)			

イ アによる「議会主催の研修」の具体的実施案

- ① 取組の名称は、「議員力向上研修」とする。
- ② 「テーマ」は、次の考え方により、選定する。
 - (ア) 「議員力」「議会力」の向上（議長からの諮問趣旨）を勘案する。
 - (イ) 議会改革関係のテーマ（議会運営の課題（＝議会力の課題）について問題提起をしたり、又はその検討や解決に資する知見（＝議員力）を得ることができるようなテーマ）として時宜に適ったテーマとすることで、府議会全体としてのレベルアップが図られるものとする。
 - (ウ) 委員会での調査が可能な「特定の政策課題」とは異なる、議員・議会活動に資する「大括り」のテーマとする。
- ③ 「開催時期、日程」は、次の考え方による。
 - (ア) 研修の開催時期については、時宜に適った「テーマ」による研修実施が有効と認められるタイミングで開催する。
（「毎年1回開催、定例会ごとに開催」といったルールは定めず、必要性に応じた開催とする。）
 - (イ) 具体的な日程は、全議員が参加できるよう、会期中の日程とし、なるべく、宿泊を伴う議員がないような時間から開始する。
- ④ 「講師」は、「テーマ」に応じ、実績等を考慮し、選定する。
- ⑤ 原則として、全議員を対象とした講義形式とする。ただし、研修の目的に応じ、その他の形式による方法（例えば、セミナー形式）や、対象議員を限定する（例えば、1・2期の新任議員向け）など、より適当と認める開催方法がある場合には、柔軟に対応する。
- ⑥ 各議員が不断の研さんを通じて高める「議員力向上」の一助とする観点から、自身の判断による任意参加制とするが、できる限り参加するよう努める。
- ⑦ 開催決定は議会運営委員会が行ない、同委員会が主催する。

(参考) 議員力向上研修のイメージ

※A～Cによる、それぞれの「議員力」向上が「議会力」を向上させる。



○委員会活動・・・議案、知事等の事務の調査、府政の課題解決に資する調査を行なう。
(管内外調査、参考人招致、委員派遣等)

○議員力向上研修【新規】・・・議会運営に関する課題解決に資する調査を行なうべき立場から議会運営の課題(=議会力の課題)について問題提起をしたり、又はその検討や解決に資する知見(=議員力)を得られるようなテーマにした議員向け研修を実施

＜参考資料＞

資料 1	議会改革に関する諮問書	1 2
資料 2	理事調整会議からの要請文	1 3
資料 3	議員力向上研修（試行）の実施について（案） （令和元年11月6日議会運営委員会資料）	1 4
資料 4	議員力向上研修（試行）のアンケート用紙	1 5
資料 5	府議会の現状の取組	1 7
資料 6	他府県議会の取組状況等	1 8

令和元年 7 月 3 日

議会改革に関する諮問書

- 京都府議会は、これまでから、府民のための議会のあり方を求めて議論を重ね、開かれた議会や政策提案機能・監視機能の充実に向けたさまざまな議会改革の取組を実施してきたところである。
- 前期の 4 年間においては、議会運営委員会に設置された議会改革検討小委員会を中心に、議会改革の検討が進められ、また、政策調整会議や広報広聴会議においても、それぞれ議会の政策機能・広報広聴機能を強化する取組が実施されたところ、これらの議会改革の成果については、今期に、さらに、将来に向けて、確実につなげていく必要がある。
- そもそも議会改革に終着点はなく、これまでの取組の成果を確かなものとし、更に発展させながら府民の信託に応え、府議会の権限を最大限に発揮するためには、議会改革に関する不断の検討を行うことが求められる。
- 少子高齢化、人口減少という社会情勢にある中で、これらを見据え、新しい総合計画を策定しようという今、私たち府議会に求められていると考える「議員力」・「議会力」を高める取組について、議会改革の課題として、次の検討をお願いしたい。
 - 1 選挙区ごとに選出される議員には、それぞれの地域の課題や要望をしっかりと把握し、地域の多様な可能性を感じながら、それらを府域全体の発展に資する府政の方針・政策・施策として鍛え上げる力量が求められており、そのための議員力向上の取組の実施検討
 - 2 二元代表制の一翼を担う議会は、知事等の執行機関に対する政策提言という重要な機能を有しており、その機能が今まで以上に機動的かつ効果的に発揮される、議会・委員会運営のあり方の検討（試行の検証を含む。）

令和元年 7 月 4 日
理事調整会議

議員力向上の取組の実施検討について

令和元年 7 月 3 日の議会運営委員会において、田中議長から議会改革に関する諮問があった下記の 1 の議員力向上の取組については、下記の 2 により、政策調整会議において具体的な実施案の検討を行っていただきたい。

記

1 田中議長の諮問事項

選挙区ごとに選出される議員には、それぞれの地域の課題や要望をしっかりと把握し、地域の多様な可能性を感じながら、それらを府域全体の発展に資する府政の方針・政策・施策として鍛え上げる力量が求められており、そのための議員力向上の取組の実施検討

2 政策調整会議における検討方法

(1) 検討事項

- 政策調整会議においては、1 の諮問事項に対する具体的な実施案として、議長諮問の趣旨に沿って、議員力を高めるという観点から、①議員研修等の取組、②行催事等の議員派遣について、現状を分析するとともに、それぞれのあり方及び具体的な充実策・実施策を検討する。

(2) 検討期間

- 政策調整会議における検討の結果は、取りまとめ次第、理事調整会議に報告するものとする。

議員力向上研修(試行)の実施について(案)

政策調整会議

1 趣旨

- 京都府議会では、委員会での参考人招致や管内外調査の積極的な実施により、府政の課題に係る議員の知識や解決能力等を高めてきた一方で、特定の政策課題にかかわらない、議会での質問の質や運営の力を高めたり、議員のあり方や議会の展望を学んだりするような、「議員力」そのものを向上させる研修等の取組は行っていない現状にある。
- このような取組は、近年、多くの他府県議会で実施されていることも踏まえ、府議会としても、次の基本的考え方(素案)に基づき、2の実施案による議員力向上研修(試行)を開催してはどうか。

--- <基本的考え方(素案※)> ※研修結果を踏まえ、更に精査し、答申予定 -----

- ① 研修の「テーマ」は、次の考え方による。
 - (1) 議長からの諮問趣旨(「議員力」「議会力」の向上)を勘案する。
 - (2) 個々人の資質向上というよりは、府議会全体としてのレベルアップが図られるものとする。
 - (3) 委員会での調査が可能な「特定の政策課題」とは異なる、議員・議会活動に資する「大括り」のテーマとする。
 - (4) 講師の選定にあっては、実績等を考慮する。
- ② 全議員が参加できるよう、会期中の日程とする。議員においても、できる限り参加するよう努める。

2 議員力向上研修(試行)の実施案

(1) テーマ

「質問力、議員力を高める府議会づくり(仮称)」

土山 希美枝 氏(龍谷大学政策学部政策学科教授)

(実績)

- ・ H28 北海道議会 「質問力を高める 議会力にいかす」
- ・ H30 兵庫県議会 「『質問力』でつくる政策議会」

(2) 日時・会場

12月16日(月)【特別委員会開催予定日】

午前10時から正午まで(講演及び質疑応答)

於：議会棟3階 大会議室

(3) 主催

議会運営委員会

議員力向上研修（試行）後アンケート

御氏名

本日は、議員力向上研修（試行）への御参加ありがとうございました。
お手数ではございますが、政策調整会議での検証に資するため、本アンケートについて御回答いただきますようお願いいたします。

1 今回の研修について

Q1 今後の議員活動（議会での質問等）に役立つと思われますか。

- ア. 大いに役立つ
- イ. 役立つ
- ウ. なんともいえない

Q2 講師の説明はわかりやすかったですか。

- ア. とてもわかりやすかった
- イ. わかりやすかった
- ウ. 少しわかりにくかった
- エ. わかりにくかった

Q3 その他御意見等がありましたら、御記入願います。

--

2 今後の取組について

Q1 今後も今回のような全議員を対象とした取組を、継続して実施することについての御所感をお答えください。

- ア. とても良いと思う
- イ. 良いと思う
- ウ. あまり必要ないと思う
- エ. 必要ないと思う
- オ. なんともいえない

→裏面へ

(Q1でア、イを選択された方)

Q2 今後継続して研修等が実施された場合、授研したいと思うテーマを御回答下さい。(該当するものを全て選択して下さい。)

- ア. 政策提言力を高める議会・委員会づくりについて
- イ. 質問力について
- ウ. 議員のあり方について
- エ. 議会の展望について
- オ. 議会改革について
- カ. 議員提案政策条例の立案について
- キ. その他 ()

(Q1でア、イを選択された方)

Q3 その際の研修方法について、希望される形式を御回答下さい。

- ア. 講義中心
- イ. グループワーク等のワークショップ
- ウ. その他 ()

Q4 その他御意見、御感想などがありましたら、御自由にお書き下さい。

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

府議会の現状の取組について

I 議員研修等の取組

- 府議会として議員研修は実施していない。
- 政策の調査・研究は特別委員会、閉会中常任委員会における参考人招致で対応

II 議員派遣

(1) 議員研修等への派遣

■ 新任議員研修会

- 主 催：全国都道府県議会議長会 ○対 象：統一地方選挙の初当選議員等
- 府参加者：初当選議員等を派遣（H27：11名、R1：13名）
- 内 容：地方議会の基礎的な制度と運営、地方行財政を取り巻く諸課題等について研究者等3名による講演を実施

■ 地方議会活性化シンポジウム

- 主 催：総務省 ○対 象：議員及び事務職員（1議会3名まで）
- 府参加者：例年、議長、副議長、議運委員長のいずれかを派遣
- 内 容：【基調講演】 地方自治の研究者等による講演
【パネルディスカッション】 地方議会議員（議長）、研究者、メディア関係者等による地方自治に係るテーマについてのパネルディスカッション

■ 都道府県議会議員研究交流大会

- 主 催：全国都道府県議会議長会 ○対 象：議員（1議会5～10名程度）
- 府参加者：例年、正副議長及び各派推薦議員を派遣
- 内 容：【基調講演】 地方自治の研究者等による講演
【分科会】 議員（パネリスト）の事例発表、参加者の意見交換
（H30（5分科会）：①政策立案機能の強化、
②行政監視機能の強化、③住民との関係強化、
④広報・情報発信、⑤地域医療・介護の将来像）

■ 近畿6府県議員交流フォーラム

- 主 催：近畿6府県議員交流フォーラム実行委員会
（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県の議長で構成）
- 対 象：各府県議員（1議会7～10名程度）
- 府参加者：例年、正副議長及び各派推薦議員を派遣
- 内 容：分科会に分かれて、コーディネーターの司会の下、意見交換
（H30（4分科会）：①地方自治、②観光・文化、③防災、④医療・福祉）

(2) その他の議員派遣

- 議会全体としての派遣
- 委員会単位での派遣

他府県議会の取組状況等について

13 都道府県議会議長会加入の都道府県の状況

※新潟県、岡山県、熊本県を除く、特別区、政令指定都市の所在都道府県

※議員力に関わる研修：太字参照

I 議員研修会を実施している議会

(1) 北海道

- ① 企画：政審連絡会議（会派間協議の場）
 ② 対象：全議員
 ③ 過去のテーマ・講師

H27	テーマ 講師	「議案審査・政策立案等に必要の情報収集の方法」 国立国会図書館 政治史料課長 塚田 洋
H28	テーマ 講師	「質問力を高める 議会力に生かす」 龍谷大学 教授 土山 希美枝
H29	テーマ 講師	「冬の災害を想定した命を守る避難所・避難生活」 日本赤十字北海道看護大学 教授 根本 昌宏
	テーマ 講師	「アイヌ文化と北海道の未来」 札幌大学 教授 本田 優子
H30	テーマ 講師	「世界遺産を目指す縄文遺跡群～その価値と活用～」 北海道環境生活部 特別研究員 阿部 千春
	テーマ 講師	「北海道経済の現状と未来～道外から見た北海道～」 日本銀行札幌支店 支店長 小高 咲

(2) 宮城県

- ① 企画：(ア) 新たな地方公会計制度に関するセミナー
日本公認会計士協会が企画したものを受入れ
(イ) 人口減少問題と県政運営に関するセミナー
県議会、市議会議長会、町村議会議長会の共催
(ウ) 農業が抱える問題に関する勉強会
議長（各会派会長懇話会での一会派の要望を受けて企画）
- ② 対象：(ア) 新たな地方公会計制度に関するセミナー
全議員及び県内市町村議会議員
(イ) 人口減少問題と県政運営に関するセミナー
全議員及び県内市町村議会議員
(ウ) 農業が抱える問題に関する勉強会
全議員

③ 過去のテーマ・講師

H29	(ア) 新たな地方公会計制度に関するセミナー	
	テーマ	「統一的な基準により作成された財務書類の見方」
	講師	日本公認会計士協会 公会計担当研究員 川口 雅也
H30	(イ) 人口減少問題と県政運営に関するセミナー	
	テーマ	「地域別将来人口変化とその要因－宮城県を中心として－」
	講師	国立社会保障・人口問題研究所 小池 司朗
	テーマ	「今後の県政運営について」
	講師	宮城県知事 村井 嘉浩
	(ウ) 農業が抱える問題に関する勉強会	
	テーマ	「農業が抱える問題」
	講師	東北大学大学院 教授 伊藤 房雄

(3) 埼玉県

- ① 企画 : 議長
 ② 対象 : 全議員及び県内市町村議会議長
 ③ 過去のテーマ・講師

H28	テーマ	「スポーツを活かした社会問題の解決・地域の活性化」
	講師	元陸上選手 為末 大
H29	テーマ	「徳川 400 年から読む埼玉の未来」
	講師	(公財) 徳川記念財団 理事 徳川 家広
H30	テーマ	「目標達成のプロセス～5つの提言～」
	講師	大宮アルディージャ トータルアドバイザー 佐々木 則夫

(4) 東京都

- ① 企画 : 議会改革検討委員会
 ② 対象 : 議会改革検討委員会委員及びその他希望議員
 ③ 過去のテーマ・講師

H29	テーマ	「自治体議会議員の法的位置づけと議会改革に向けた視点」
	講師	東京大学 名誉教授 大森 彌
H30	テーマ	「議会基本条例と大都市議会に求められる将来像」
	講師	山梨学院大学教授 江藤 俊昭 元衆議院法制局 参事 吉田 利宏

(5) 神奈川県

- ① 企画 : 議長
- ② 対象 : 全議員
- ③ 過去のテーマ・講師

H30	テーマ	「2040年を見据えた自治体と地方議会の展望」
	講師	東京大学先端科学技術センター 教授 牧原 出

※ 他に全議員を対象とした手話研修、ユニバーサルマナー研修も実施

(6) 静岡県

- ① 企画 : 議長
- ② 対象 : 全議員
- ③ 過去のテーマ・講師

H28	テーマ	「SHIEN学ー新たな時代の生きかた・働かたによる未来の創造」
	講師	静岡大学大学院教授 舘岡 康雄
H29	テーマ	「県民幸福度研究～幸福度ランキングの政策・施策への活用～」
	講師	(一財)日本総合研究所 所長 松岡 斉
H29	テーマ	「女性・高齢者・若者にさらなる活躍の場を：ラーニング・リーダーシップで人と組織を元気にする」
	講師	明治大学 教授 牛尾 奈緒美
H30	テーマ	「観光立国と地方創生」
	講師	(公社)日本観光振興協会 理事長 久保 成人

※ 他に全議員を対象とした手話研修も実施

(7) 愛知県

- ① 企画 : 議長
- ② 対象 : 全議員
- ③ 過去のテーマ・講師

H28	テーマ	「課題解決型人材育成について」
	講師	静岡聖光学院中学校・高等学校副校長 星野 明宏
H29	テーマ	「新たなステージでの分権改革～地方自治法施行70周年を迎えて」
	講師	日本社会事業大学 学長・東京大学 名誉教授 神野 直彦
H30	テーマ	「自動運転の民主化」
	講師	東京大学 准教授 加藤 真平

(8) 兵庫県

- ① 企 画 : (ア) 政調懇話会 議長
(イ) 政策法務研修 各会派政務調査会長会座長
- ② 対 象 : 全議員
- ③ 過去のテーマ・講師

H28	(ア) 政調懇話会	
	テーマ	「I o T (モノのインターネット)、A I (人工知能)等の発展に伴う 30～40年先の日本の将来像」
	講師	経済産業省 産業再生課長 井上 博雄
H29	(ア) 政調懇話会	
	テーマ	「兵庫県の成り立ちと五国の魅力～県政 150周年に向けて～」
	講師	園田女子学園大学 名誉教授 田辺 真人
	(イ) 政策法務研修	
	テーマ	「条例制定における課題や注意点等について」
	講師	大東文化大学大学院 教授 浅野 善治
H30	(ア) 政調懇話会	
	テーマ	「地域の魅力を伝える広報のあり方」
	講師	(一社)リベルタ学舎 代表理事 湯川 カナ
	(イ) 政策法務研修	
	テーマ	「『質問力』でつくる政策議会」
	講師	龍谷大学 教授 土山 希美枝

(9) 広島県

- ① 企 画 : 議長
- ② 対 象 : 全議員
- ③ 過去のテーマ・講師

H30	テーマ	「地方議会の今後のあり方について」
	講師	慶応義塾大学大学院 准教授 谷口 尚子

II 議員研修会を実施していない議会

千葉県、京都府、大阪府（※近年実施なし。H24、25は実施）、福岡県